

平成 19 年度三郷市上水道事業報告書

1. 概 況

(1) 総括事項

事業経営の面では、有収水量が昨年度と比べやや減少し給水収益も減少しましたが、経営の安定度を示す総収支比率（総収益÷総費用×100）は前年度比 2.2 ポイント増の 104.5%となるなど、経営状況が好転しております。

施設の老朽化に伴う北部浄水場の施設更新整備事業が 4 ヶ年計画の最終年度を迎え、電気計装設備工事や自家発電設備等の工事が完了しました。

その他土地区画整理事業や公共下水道整備事業などに伴う老朽管の布設替及び布設工事も引き続き進めておりますので、今後も効率的な事業運営、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

イ 給・配水の状況

当年度における給水人口は、130,537 人で前年度比 26 人減少しました。

水需要につきましては、総配水量が前年度比 1.1 %増の 15,474,780 m³、有収水量は 0.09 %減の 14,436,329 m³で、有収率は 93.3 %となりました。

有収水量の増減の主なものは、一般家庭用が 0.3 %増の 13,684,918 m³、工場用が 19.8 %減の 115,318 m³、病院用が 14.1 %減の 193,547 m³となっております。

ロ 収益的収支の状況（税抜）

収益的収入(事業収益)は、2,007,061,490 円で、前年度比 0.9 %の減となり、そのうち全体の 9 割以上を占める給水収益は、1,918,808,953 円で前年度比 0.6 %の減となりました。

これに対し収益的支出(事業費用)は、1,920,699,765 円で、前年度比 3.0 %の減となりました。

主な支出としては、受水費が 797,620,580 円で前年度比 0.2 %の増、委託料は 184,172,170 円で前年度比 2.3 %の増、修繕費は 55,482,445 円で前年度比 8.4 %の増、動力費は 47,858,477 円で前年度比 5.8 %の増、資産減耗費は 32,384,242 円で前年度比 46.4%の減、水道料金の不納欠損を主なものとする過年度損益修正損は 6,494,696 円で前年度比 66.7%減となりました。

その結果、当年度におきましては、86,361,725 円の純利益を得ることができました。

これに、前年度繰越利益剰余金 361,910,893 円を加えた 448,272,618 円が当年度末処分利益剰余金となりますが、法の規定により減債積立金に 4,400,000 円を積み立て、残り 443,872,618 円を翌年度に繰越いたします。

ハ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入は、395,099,775 円で前年度比 2.4 %の減となりました。

この収入の内訳は、企業債 100,000,000 円(前年度比 50.0%の減)、分担金 165,060,000 円(前年度比 22.0%の増)、工事負担金 130,039,775 円(前年度比 86.9%の増)となります。

これに対し資本的支出は、1,227,657,126 円で前年度比 51.8 %の増となりました。

この支出の内訳は、建設改良費 1,117,685,893 円(前年度比 48.7 %の増)、企業債償還金 109,971,233 円(前年度比 93.4%の増)となりますが、企業債償還金が増加した原因は高金利の上水道事業債を繰上償還したためであります。

その結果、資本的収入額が支出額に不足する 832,557,351 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 39,427,086 円、減債積立金 47,047,081 円、過年度分損益勘定留保資金 746,083,184 円で補てんいたします。

なお、建設改良費 564,574,500 円につきましては、関係機関と工程を調整する中で、年度を越えて工期を設定せざるを得なかったことにより、予算繰越措置をしました。